

令和 6 年度事業報告



群馬県観光物産国際協会

Gunma Association of Tourism, Local Products & International Exchange

I 国際化推進事業（公益目的事業1）

1 多文化共生支援事業

(1) 「ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター」の運営

20,770千円【県受託事業】

外国人の生活・就労等に関する相談に、多言語及びやさしい日本語で速やかに応じ、適切な情報提供や取り次ぎを行ったほか、国や市町村と連携し、情報共有や情報発信を行った。

- ・ 開設時間 9:00～17:00（月～金）
- ・ 開設場所 群馬県庁昭和庁舎1階

ア 窓口運營業務

英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、ネパール語の相談員を配置し、在住外国人等の相談に多言語で対応した。

- ・ 開設時間 9:00～17:00（月～金）
- ・ 開設場所 群馬県庁昭和庁舎1階
- ・ 相談件数 1,034件
- ・ 主な相談内容
雇用・労働問題（14%）、入管手続き（13%）、身分関係（結婚・離婚）（11%）
通訳（10%）、借金等（8%）



イ 外国人のための専門相談

在住外国人からの各種相談に対し、専門家による無料相談会を設け実施した。

(ア) 弁護士、行政書士、社会保険労務士による外国人のための法律相談（SOS）を市町村や関係機関と連携し実施した。

- 実施回数 10回
- 相談件数 109件
- 実施日・場所

①	令和6年 4月21日(日)	ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター
②	令和6年 5月19日(日)	ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター
③	令和6年 6月16日(日)	ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター
④	令和6年 7月28日(日)	安中市文化センター
⑤	令和6年 8月25日(日)	美喜仁桐生文化会館
⑥	令和6年 9月 8日(日)	大泉町公民館南別館
⑦	令和6年10月20日(日)	ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター
⑧	令和6年12月 8日(日)	高崎市中央公民館集会ホール
⑨	令和7年 1月26日(日)	多文化共生センターおおた
⑩	令和7年 2月 9日(日)	伊勢崎市役所東館



(イ) 東京出入国在留管理局職員と連携し相談業務を行った。

- ・ 開催日時 毎月第4火曜日 10:30～15:00
- ・ 開設場所 群馬県庁昭和庁舎1階
- ・ 実施回数 12回、相談件数 23件

(ウ) 法テラスに係る業務を行った。

- ・ 開催日時 毎月第2・第4火曜日 10:00～12:00 (要予約)
- ・ 実施回数 16回 (実施予定回数24回 ※予約が無かった日は開催していない)、相談件数 31件

ウ 外国人相談実務者のための研修

外国人相談業務に携わる実務者を対象に、非常時の対応や相談対応における基礎や最新の制度改正等についてのスキルアップを図るとともに、他の相談機関との連携や相談員同士のネットワーク構築等を目的とした研修を実施した。

- ・ 日程 令和7年3月4日(火) 14:00～15:10
- ・ 参加方法 オンライン
- ・ 内容 外国人の雇用に関するトラブルについて
- ・ 参加者数 13名



2025.02.09 (土)

グローバルセミナー2024

参加無料、対面開催



海外日本人学校の帰国教員とJICA教師海外研修、教員の活躍を支える豪華
本立て!!! 個別相談の時間もあります!

海外日本人学校の先生や、JICAの国際理解教育に興味のある先生は是非ご参加ください。



主催：JICA東京、群馬国際理解教育研究会、
(公財)群馬県観光物産国際協会
後援：群馬県、群馬県教育委員会

- ・ 日時：2024.2.13:00～16:30
- ・ 会場：群馬県生涯学習センター 第一研修室
- ・ 住所：371-080 群馬県前橋市文
- ・ 群馬県前橋市文 (前橋駅より徒歩12-20-22分)
- ・ 会場定員：70名

参加申込みはこちら
<https://forms.office.com/>

から→
32aqYZ8M



エ 多言語情報発信事業

(ア) 多言語WEBサイト及び多言語Facebookの運営

国や県、市町村と連携し収集した外国人を対象とした各種情報を多言語WEBサイトやFacebookにより発信した。

- 提供情報 外国人のための専門相談（SOS、東京入管無料相談、法テラス）
- 県主催事業（合同企業説明会、防災訓練等）
- 各種生活情報（災害に関する情報サイト、インフルエンザ等予防接種情報、食物アレルギーガイド、日本語能力試験案内、税金等）

(イ) 外国語情報誌「THE GUNMA GUIDE」発行

ネット環境にない外国人を対象に生活情報等を掲載した多言語情報誌を発行した。

- 発行回数 年4回（春・夏・秋・冬号）
- 発行部数 各言語（6種類）500部
- 配布場所 東京出入国在留管理局、ハローワーク、群馬県警察本部、市町村、市町村国際交流協会、年金事務所、群馬県内大学、日本語学校、教会、インターナショナルショップ

The Gunma Guide

Autumn 2024

ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター

(One-Stop Consultation Center for Foreign Residents of Gunma)

群馬県前橋市大手町 1-1-1 昭和庁舎 1階 TEL 027-289-8275 FAX 027-289-8

Gunma-ken Maebashi-shi Ote-machi 1-1-1 Showa Chosha 1F

<https://sites.google.com/view/gunma-onestop/english>



One-Stop Consultation Center for Foreign Residents of Gunma is available to you.

Japanese, Spanish, Portuguese, Vietnamese, Nepali-speaking staff at the center to help you with various issues related to living in Gunma.

Wing, Gunma Prefectural Government Building
Tel. 027-371-0026 Hours: 9:00 - 17:00 (Mon.~Fri.)

LINE /6 Messenger: Gtia Gunma

Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
○	○	○	○
○		○	○
○	○	○	○
○		○	○
○	○	○	○
	○		

Consultation for Foreign Residents

(Confidential, Interpreting Service)

Registration until 14:30

One-Stop Consultation Center for Foreign Residents of Gunma

1F, 1-1-1 Ote-machi Maebashi 〒371-0026

00 (Registration until 14:30)

Maebashi Chu-o Kouminkan Hall

1-1-1 Suehiro-cho, Takasaki 〒370-0065

Advisors: Lawyer, Gyoseishoshi (Immigration), Sharoushi (Labor Issues)

Interpreters: English, Chinese, Portuguese, Spanish, Vietnamese, Tagalog (only in Takasaki Venue)

◆ Priority is given to those who have appointments.

◆ For appointment and inquiry: One-Stop Consultation Center for Foreign Residents of Gunma

Tel. 027-289-8275 9:00-17:00 (Weekdays) 090-1215-6113 (Outside Gunma)

目次

ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター、外国人のための法律相談 SOS（前

10月）は多文化共生・共創推進月間……………P1

いざというときに役立つ、防災の知恵……………P2

マイナ保険証をご利用ください……………P3

……………P4

高崎市……………P1

……………P2

……………P3

……………P4

(3) 医療通訳派遣事業

813千円【県受託事業】

外国人県民の保険医療環境を整えるとともに医療機関の外国人診療の負担を軽減するために、医療通訳ボランティアの派遣業務を行った。

- ・ 県登録医療機関等 21機関
- ・ 県登録医療通訳ボランティア数 106名（14言語）
- ・ 通訳実績 211件（通訳ボランティア実働数：30名・派遣211件・電話0件）
- ・ 言語別実績

スペイン語	57件
ポルトガル語	56件
中国語	39件
ベトナム語	18件
英語	18件
タイ語	6件
インドネシア語	3件
韓国語	1件
ネパール語	2件
ベンガル語	6件
ウルドゥー語	5件



2 国際交流・協力推進事業

(1) 国際交流ボランティア人材バンクの運営事業（廃止）

(2) 国際交流団体等連携事業

130千円【自主事業】

（一財）自治体国際化協会と各都道府県の国際交流協会が構成する協議会に参加し、事業の連携や意見交換を行った。

(3) 県内国際交流情報提供及び国際理解推進事業

4千円【自主事業】

ア 県内の国際交流に関する情報を収集しHP等により提供した。

- ・ 掲載団体数 70団体

イ 国際理解教育・国際協力に関する「ぐんまグローバルセミナー」をJICAと連携し開催することにより、世界や地域の課題への関心を高めるとともに国際的な市民活動の活性化を図った。

- ・ 日 程 令和7年2月8日（土）13:00～16:30
- ・ 会 場 群馬県生涯学習センター研修
- ・ 参加者数 約50名
- ・ 実施内容 教師海外研修＆授業実践報告、日本人学校帰国教師実践報告会



3 外国人患者救急医療費補填事業

1,372千円【県補助事業】

本県に在住、就労する外国人の緊急的な医療が適切に確保されるよう、公的医療保険等の適用を受けられず未収となった外国人患者の医療費を一部補填した。

- ・ 医療機関数 2機関
- ・ 人数 4名
- ・ 補填総額 916千円

4 受託事業

(1) 地域国際化推進サポート事業

1,446千円【民間受託事業】

(一財)自治体国際化協会群馬県支部から業務を受託し、翻訳・通訳・情報収集・発信等の業務を行った。

- ・ 翻訳1件 日本の歌のベトナム語翻訳
- ・ 通訳1件 台湾雲林県長訪問に伴う通訳
- ・ 情報収集・発信 45件

小中高校生のための国際理解講座、ぐんまベトナム交流祭、インフルエンザ等感染症情報、その他生活関連情報

(2) 群馬県日本中国友好協会業務受託事業

800千円（R5年度400千円）【民間受託事業】

群馬県日本中国友好協会から業務を受託し、交流事業に伴う情報収集・発信等の業務を行った。



II 観光物産振興・推進事業（公益目的事業2）

1 観光情報発信・広報宣伝事業

県内各地の観光地・観光資源を市場に効果的に発信するため、観光公式サイト「観光ぐんま」や公式SNS、冊子など各種媒体を駆使した広報活動を行った。

(1) WEB・SNS企画・編集

1,718千円【県・市町村 負担金事業】

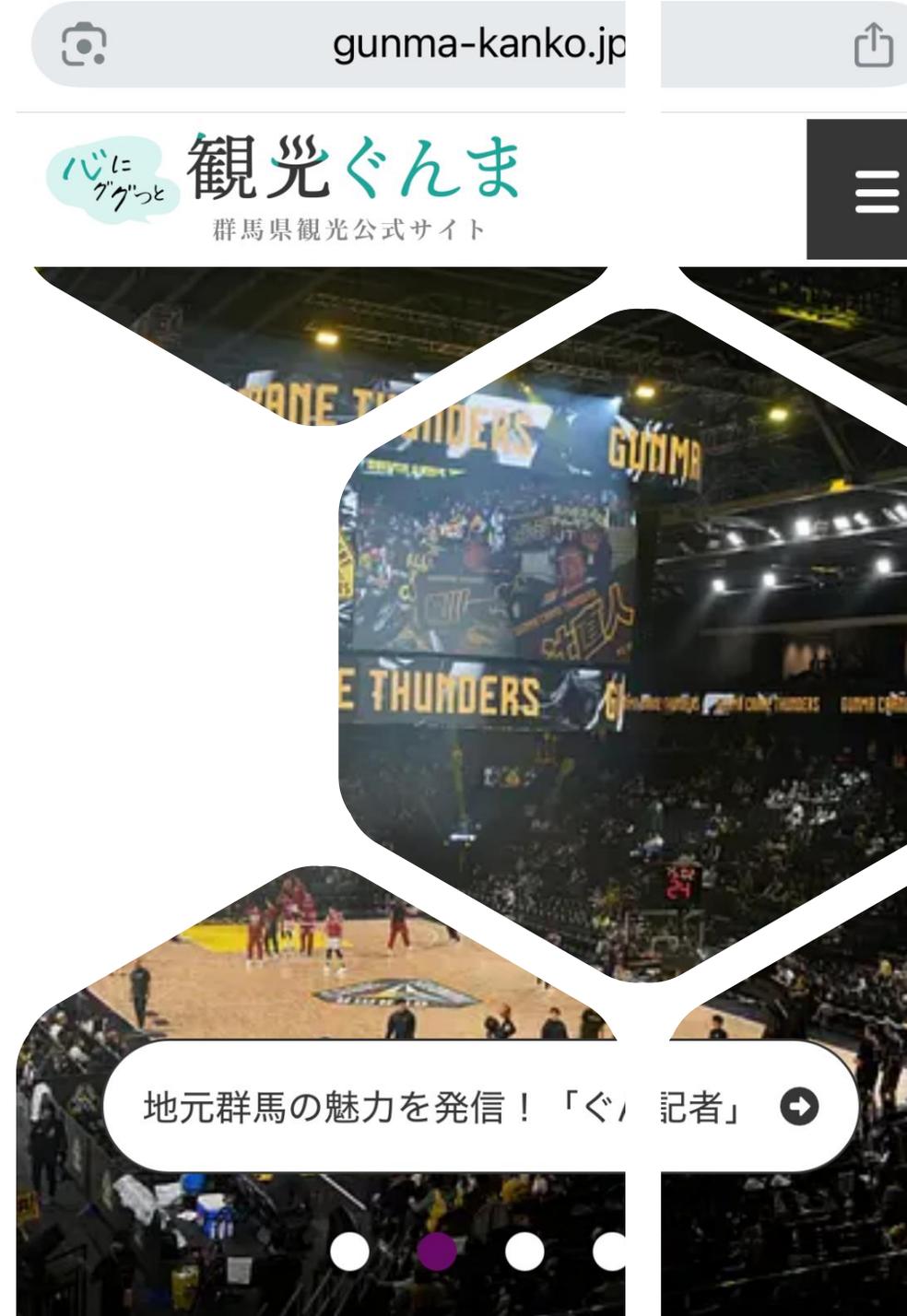
観光公式サイト「観光ぐんま」へ掲載する特集記事については、令和6年1月に発足した「ぐんま観光県民ライター『ぐん記者』」を活用し、観光素材の魅力をより深く伝えるとともに市場動向に合わせた弾力的なコンテンツ55本を製作した。公式Instagramにおいては、投稿管理ツールを導入し、情報セキュリティ上のリスクに対する対策を講じた上で、継続的な投稿を行った。投稿内容は35市町村にわたり、投稿数は161件におよぶ。

(2) デジタル情報発信事業

4,400千円【自主事業】

観光公式サイトやSNSを核に、消費者行動の変化に応じた情報発信を安定的かつ戦略的に継続するため、専門人材を配置した。あわせてフォトコンテスト等を展開し、オンライン上の情報流通量の増加と認知の拡大を図り、観光公式サイト「観光ぐんま」への集客強化を企図した。

- 「#gunmalove」写真投稿キャンペーンSPRING & SUMMER
令和6年4月25日(木)～8月31日(土)応募者208名2,935作品
- 「#gunmalove」写真投稿キャンペーンautumn & winter
令和6年10月1日(火)～令和7年2月28日(金)応募者181名3,092作品



(3) 広報宣伝・イベント参加

1,368千円【自主事業】

ア 群馬県と連携した観光展

- ・ウェルネスツーリズムEXPO
日程 令和6年5月8日(水)～10日(金)
会場 東京ビッグサイト
- ・ツーリズムEXPO
日程 令和6年9月26日(木)～29日(日)
会場 東京ビッグサイト

イ JR東日本と連携した観光展

- ・温泉文化プロモーション
日程 令和6年9月21日(土)～23日(月・祝)
会場 ビックカメラ有楽町店
- ・上州ぐんま産直市
日程 令和6年11月28日(木)～30日(土)
会場 大宮駅西口イベントスペース・東西連絡通路イベントスペース

ウ 日本観光振興協会関東支部観光展参加

日本観光振興協会関東ブロック観光連盟協議会の一員として海外(台湾・台北)の観光展に参加した。

- ・ITF/台北国際旅行博2024
日程 令和6年11月1日(金)～4日(月)

(4) 観光情報基盤整備

300千円【県・市町村負担金事業】

市町村等、多様な関係者との会議等に出席し、効果的な情報収集と発信につなげた。



2 観光誘客事業

広く全国からそして国外から県内への誘客を促進するため、県や地域観光団体、宿泊施設等の多様な関係者と連携し、観光プランの造成や商談マッチング・誘客イベントの参加などにより、リトリートの推進と受入体制の構築を図った。

(1) 誘客プロジェクト

【県・市町村負担金事業】 廃止

(2) 海外誘客対策事業

・ 海外セールスプロモーション

1,000千円【県補助事業】

海外からの更なる誘客を促進するため、商談会・観光展等への参加、学校交流のコーディネートなどを実施した。

(ア) 海外で開催された商談会・観光展等

- ・ 広東国際旅游産業博覧会2024 (CITIE2024)
令和6年9月13日(金)～15日(日)
- ・ 2024高雄大台南国際旅展 (群馬県商工会連合会事業)
令和6年11月15日(金)～18日(月)
- ・ 台北駅 群馬県・尾瀬かたしな・渋川伊香保温泉PRイベント
令和6年11月23日(土)・24日(日)
- ・ 高雄市旅行公会冬季国際旅展 (北関東三県での出展)
令和6年11月29日(金)～12月2日(月)



(3) 多様な関係者との連携事業

3,555千円【県・市町村負担金事業】

東日本高速道路株式会社関東支社高崎管理事務所と連携した誘客事業を実施した。

- ガイドブックの作成
- 高速道路SA等での観光展

令和6年 7月20日(土) 東京湾アクアライン 海ほたるPA

令和6年10月19日(土) 関越自動車道 上里SA

(4) 地域コンテンツ流通促進

174千円【自主事業】

これまでの商談会、企画集作成を発展させ、ターゲットに応じた販路づくりまで一貫して取り組むことを通じ、地域資源のコンテンツ化とともに、市場への流通を促進させることを企図した。

ア 令和6年度群馬県内旅行商品造成支援事業

群馬県を目的地とした旅行商品化のフェーズにある旅行者に対して、現地視察費用の一部を支援した。

イ 地域コンテンツ（体験プログラム）のグローバルOTAへの掲載

これまでに造成した体験プログラム4件を、海外からの個人旅行者の利用の多いOTA（Online Travel Agency）「Viator」に掲載した。



(5) 受託事業

ア 群馬県スキー場経営者協会業務受託事業

1,994千円【民間受託事業】

本県冬季観光産業のメインである県内スキー場の活性化と誘客等を効率的・広域的に実施するため、群馬県スキー場経営者協会の事務局業務を受託した。

イ ググっとぐんま観光宣伝推進協議会協定

500千円【民間受託事業】

ググっとぐんま観光宣伝推進協議会の事務局業務等を受託した。

(6) 負担金・拠出金

ア ググっとぐんま観光宣伝推進協議会負担金 0円

地域と結びつきの強い事業を継続して実施した。（受入体制整備事業・地域部会活動支援事業等）

イ 日本観光振興協会拠出金 1,200千円

日本観光振興協会の全国広域観光振興事業に拠出した。



3 観光地域づくり・人材育成事業

変化の激しい社会において、自立的・継続的に魅力ある観光地域づくりを行うため、活動の中心となる専門人材の配置や人材育成のための研修会を行うとともに、地域づくりに必要となるデータの収集、整理や新たな地域づくりに資する協働の実施、表彰等の意識啓発事業等を行った。

(1) 地域づくり事業

ア データマーケティング高度化事業

45,810千円【県補助事業】

県域をマネジメント対象とする観光地域づくり法人（登録DMO）として、観光入込客数などの観光統計に加え、ビッグデータや市場動向調査等を一元的に集約し、タイムリーに提供できる体制づくりに、令和3年度より取り組んできた。（公社）日本観光振興協会の実証事業の採択を受け、同会が保有するDMP「日本観光振興デジタルプラットフォーム」に、群馬県版の機能を追加、公開し、県内市町村および市町村観光団体等に利用いただけるよう、アカウントを整備した。

DMPとは、「Data Management Platform」の略であり、さまざまなデータをマーケティングに活用するためのツールのこと。DMPを活用することでインターネット上の様々なビッグデータを一元管理し、分析できるようになる。今年度公開したDMPはPCブラウザで利用できるため、データに触れ、DOBA（Data oriented Business Approach、客観的なデータに基づきビジネス（事業）を思考する考え方）の基盤になるものと考えられる。

群馬県版拡張機能に搭載した主なデータ

- 外国人を含む人流ビッグデータ
- キャッシュレス消費額ビッグデータ
- 簡易需要予測（宿泊）
- 経済波及効果の産業連関表による簡易分析

また、DMP構築の目的や機能説明、分析・活用事例など、観光マーケティングを実施する上で必要となる「データ活用」についての研修会を、令和7年3月7日（金）にオンラインにて実施し、15団体の参加を得た。



イ 魅力ある観光地域づくり（データプラットフォーム運営）

18,680千円【県・市町村負担金事業】

市町村等へのコンサルティング、協働施策の実施などを通じ、地域の課題解決に貢献するため、DMPの運営の他に、人流ビッグデータ、オンライン上の情報流通に関するビッグデータ、インターネットリサーチを駆使したレポートを作成し、県内市町村および市町村観光団体等に提供した。
レポート数 25件

主なテーマ

- ・ ラーケーションに関する意識調査
- ・ オーバーツーリズムに関する意識調査
- ・ リトリート認知度調査
- ・ ペットツーリズムに関する意識調査
- ・ イベント・祭りの来訪者数・居住地分析
- ・ 地域内観光地点の来訪者数・居住地・消費者ニーズトレンド分析
- ・ 「聖地巡礼」の効果検証

ウ 観光統計整備委託事業

9,999千円【県受託事業】

観光庁共通基準に基づき県内観光地点で実施する観光客動向調査（観光入込客パラメータ調査）、市町村の観光入込客数、消費額推計を集約する群馬県基準統計を中心とし、県の観光統計整備に従事した。

観光客動向調査（観光入込客パラメータ調査）

- ・ 概要 観光地点に調査員を配置し、観光客から、旅行形態、目的、費用、立寄り地点、満足度などを聞き取るアンケート用紙を用いた調査。観光庁共通基準に基づいて消費額等の推計を行うもの。
- ・ 実施頻度 四半期ごとに1回（土日祝日）
- ・ 調査地点 群馬県が選定した協力観光地点30箇所（道の駅、温泉地、入場施設など）



(2) 中核人材育成

319千円【県・市町村負担金事業】

ア ぐんま観光リーダー塾

地域における観光地域づくりをリードする中核人材の育成を行うため、研修会「ぐんま観光リーダー塾」を、令和7年1月25日（土）・26日（日）の2日間にわたり開催した。秋間梅林観光協会の協力を得て、フィールドワーク、関係者へのインタビュー、ディスカッションなどを通じ、アクションプランを考案、発表した。

イ 会員向け研修会

観光・物産に関する先進的な事例の紹介や、講師・理事等との意見交換、会員相互の交流を図るため、令和7年1月30日（木）に研修会を開催した。みちのりホールディングス取締役会長の松本順氏を講師に迎え、「交通事業の経営を通じた観光産業及び地域経済の活性化」と題した講演会を行った。

(3) 表彰・後援等

200千円【県・市町村負担金事業】

ア 表彰

(ア) 観光関係者功労者表彰

観光事業の発展に資することを目的に観光事業に功績のあった者を表彰した。

(イ) 観光物産優良事列表彰「ベストプロジェクト・オブ・ぐんま」表彰

観光の観光及び物産振興の励み、モデルとなる事例（取組）を表彰した。

イ 後援等

(ア) 観光関係の行事等の後援及び賞の交付

地域の観光振興行事・事業等の後援や表彰、支援を行った。



(4) ぐんまの山岳観光推進事業

8,329千円【県受託事業】

ぐんま県境稜線トレイルや「ぐんま百名山」を核に、自然や山にスポットを当て、山岳観光イメージの定着による他県との差別化（ブランド化）を図ることを目的に、下記を実施した。

ア 登山アプリと連動したキャンペーン

国内最大級の登山用地図アプリ「YAMAP」とコラボし、「ぐんまの山旅・活動日記投稿キャンペーン」と銘打った誘客キャンペーンを実施した。期間中に、群馬県の山の登山と麓の観光、宿泊の記録を楽しんだ様子をアプリ内に「活動日記」として投稿すると、抽選で「ぐんまのおみやげカタログギフト」や特製手ぬぐいがもらえるというもの。また、期間中に県内の指定の山のいずれかに登頂した人に同アプリ内でバッジをもらえるという要素を加えた。

- ・実施期間 令和6年7月13日～11月17日
- ・応募条件を満たした活動日記数 9,139件
- ・アプリ内バッジ獲得者 8,533名
- ・指定の山頂を通過した人 34,319名

イ 「YAMA and MAGAZINE WEB」の更新

令和4年3月31日に公開したホームページ「YAMA and MAGAZINE WEB」に、特集記事1本を追加した。合わせて、トップページにイラストマップ「ぐんまの主要な山と温泉地」を追加し、土地勘のない方でも目的地選びがしやすいよう工夫した。

ウ 「群馬の山～山のグレーディングと山岳位置図～」リーフレットの更新

群馬県山岳団体連絡協議会の協力を得て制作している群馬県の山のグレーディング一覧を、令和2年2月に次いで改訂し、リーフレットを20,000部作成した。今回の更新では、災害により通行できなくなった登山ルート削除、近年利用の多い登山ルートの追加をはじめ、群馬県境に山頂を有しながら登山口は他県にある皇海山、巻機山、平ヶ岳を参考として新たに掲載し、登山ルート数は102にのぼる。



4 群馬県産品普及宣伝事業

群馬県産品の紹介・宣伝及び販路拡大並びに消費拡大と認知度アップを図るとともに、県内物産業者の販売ノウハウの育成等を図るため、関係機関と連携し、各種事業を行った。

(1) 品質及びデザインの向上促進及び指導に関する事業

群馬県優良県産品推奨に対する協力

収入527千円／支出541千円【自主事業】

群馬県が「群馬県優良県産品推奨制度」により指定した推奨品の販売促進に資するため、推奨シールの普及を図るとともに、販売を行った。

(2) 物産展等開催事業

群馬県産品及び物産業者の紹介・宣伝及び販路拡大並びに消費拡大と認知度アップを図るため、県及び関係団体と連携し次の事業を行った。

ア 物産展等開催等

収入7,172千円／支出1,079千円【自主事業】

県内物産の紹介・宣伝及び県内物産業者の販売ノウハウの育成並びに販路拡大と消費拡大、認知度アップを図るため、群馬県及び関係団体、民間商業施設等と連携・協調を行いながら各種会場において下記のとおり物産展を開催した。

- ・ 開催回数 57回
- ・ 売上総額 133,805千円（併せてMICE誘致・開催支援策として物産販売等を行うとともに、新たな販路開拓としても活用した。）



イ 群馬県産品常設販売コーナーぐんまるしえ・ぐんまーと・ぐんマーケットの運営

収入 3,014 千円 / 支出 33 千円 【自主事業】

民間の大型商業施設等と連携し、常設販売及びコーナー設置を推進した。

- ・ 「ぐんまるしえ」常設販売 イオンスタイル高崎・イオン太田店他
- ・ 「ぐんまーと」常設販売 ハンプティータンブティータ田飯塚店
- ・ 「ぐんマーケット」常設販売 アピタ高崎店【新規出店】

(3) ぐんまカタログギフト販売事業

収入 1,141 千円 / 支出 574 千円 【自主事業】

「カタログギフト」による群馬県産品の販売を促進した。

(4) 物産振興助成等情報交換事業

167 千円 【自主事業】

各地域物産振興協会が中心となって開催する地域の物産展、展示即売会、インターネットやカタログ等の通信販売事業等の物産振興事業に対してその経費の一部を助成した。

各地域物産振興協会等との情報交換を行う連絡会議を開催した。

(5) 協会物産振興改革推進事業【新規事業】

ア 物産振興にむけた物産業者対象セミナー開催（改革検討中のため未実施）

0 円 【自主事業】

イ 物産展等における県産品情報発信事業

0 円 【自主事業】

物産展等に出店する県産品の情報などを、インフルエンサーを活用しSNS等で紹介することで購買意欲向上に繋げた。



5 MICE推進

群馬県内各地にMICEを誘致することにより、群馬県内の交流人口の増加、MICE関連産業の振興を図った。

また、MICE主催者へエクスカーションの提案などにより県内域への観光周遊を促すとともに、会場内で群馬県ならではの物産コーナーを提案するなど、MICEによる経済波及効果を周知し県内観光振興及びおよび物産の振興を推進することで収益につなげた。

(1) MICE誘致等業務

24,103千円【県受託事業】

学会や全国大会、各種団体等の会議・研修・展示会等のMICE誘致及びMICE開催における県内事業者紹介等の支援を行った。

ア 群馬県内へのMICE誘致の強化

県内各地へのMICE誘致のため、県内外の有力者に対し営業活動を行い、継続的な誘致活動のため、主催者情報や催事情報等をデータベース化した。

誘致実績 13件

誘致活動件数 143件

以下のとおり、展示会等に参加した。

(ア) Japan MICE EXPO 2024

- ・ 会場 インテックス大阪6号館Aゾーン
- ・ 会期 令和6年10月17日(木)～18日(金) 両日10:00～17:00
- ・ 主催 Japan MICE EXPO 2024 実行委員会

(イ) 第34回国際MICEエキスポ (IME2025)

- ・ 会場 東京国際フォーラム
- ・ 会期 令和7年2月13日(木) 10:30～19:00
- ・ 主催 一般社団法人日本コンgress・コンベンション・ビューロー等
- ・ 商談 12団体



イ MICE開催支援・マッチング支援

主催者の要望や相談に応じ主に以下の支援を行った。

- ・ 主催者の要望に応じたMICE会場の紹介や手配、宿泊施設等の紹介や手配。
- ・ 主催者の要望に応じて県内事業者を紹介し、受注機会の創出とともに経済波及に貢献。
- ・ 主催者の要望に応じてコンベンションバッグや観光パンフレットなどを提供。

開催支援活動件数 257件

開催支援実績 72件

マッチング活動件数 79件

マッチング実績 50件

Ⅲ 旅行業事業（収益事業1）

収入5,462千円／支出3,737千円

登録旅行者として宿泊誘客を促進し宿泊手配を行うとともに、MICE案件の宿泊手配等も積極的に展開した。

Ⅳ 観光施設事業（収益事業2）

収入4,524千円／支出14,191千円

県立赤城公園内、榛名公園内において観光施設（厚生文教団地等、オートキャンプ場）の管理運営を行った。

特に赤城については、今年度、県のキャンプ場整備に合わせ、県及び施設所有者と管理方法等について協議を行い、原状回復を図るなど整備を行った。

Ⅴ 財団の運営 理事会、評議員会の開催

事業計画、予算、その他の重要事項等について審議を行うため、理事会及び評議員会を6月、3月に開催した。また、必要に応じ臨時会を開催した。

